2025年度 解析Ⅲ演習(担当:松澤 寛) レジメ

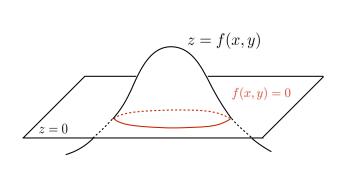
No.6 陰関数

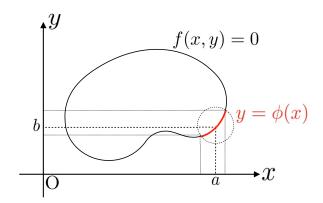
まとめ1 (陰関数とは)

変数 x と y の間に

$$f(x,y) = 0$$

で与えられる関係があるとき,x の変域と y の変域を適当に定めることにより,y が x の関数と考えることができる場合がある.これを,方程式 f(x,y)=0 から定まる**陰関数**という.





• 一般的に方程式 f(x,y)=0 は平面上の曲線を与える.曲線 f(x,y)=0 上の点 (a,b) の「まわり」で曲線が 1 変数関数 $y=\phi(x)$ のグラフとなっているための十分条件を与えるのが**陰関数定** 理である.

まとめ2(陰関数定理1)

- f(x,y) を点 (a,b) を含む開集合で定義された C^1 級関数とする.
- f(a,b)=0 (← 点 (a,b) が曲線 f(x,y)=0 上にあるということ) かつ $f_y(a,b)\neq 0$ ならば x=a を含む開区間 I で次の性質をもつ関数 $y=\phi(x)$ がただ 1 つ定まる
 - (1) $b = \phi(a)$
 - (2) $f(x, \phi(x)) = 0 \ (x \in I)$

(3)
$$\frac{dy}{dx} = \phi'(x) = -\frac{f_x(x,y)}{f_y(x,y)} \left(= -\frac{f_x(x,\phi(x))}{f_y(x,\phi(x))} \right)$$

上の式は $f(x,\phi(x))=0$ の両辺を x で微分すれば合成関数の微分法より

$$f_x(x,\phi(x)) + f_y(x,\phi(x))\phi'(x) = 0$$

から得られる.

注

- $f_y(a,b)=0$ であっても $f_x(a,b)\neq 0$ であれば上の陰関数定理において x と y の立場を入れかえることにより y=b を含む開区間 J で定義された関数 $x=\psi(y)$ で次の性質をもつものがただ 1 つ存在する:
 - $(1)' \ a = \psi(b)$
 - $(2)' f(\psi(y), y) = 0 (y \in J)$

(3)'
$$\frac{dx}{dy} = \psi'(x) = -\frac{f_y(x,y)}{f_x(x,y)} \left(= -\frac{f_y(\psi(y),y)}{f_x(\psi(y),y)} \right)$$

• 曲線 f(x,y) = 0 上の点で $f_x = f_y = 0$ となる点を**特異点**という.

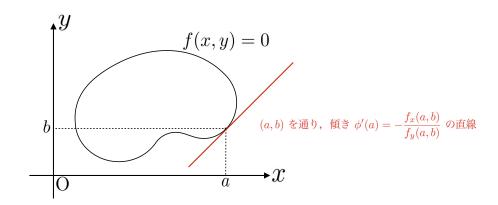
まとめ3 (接線)

- 曲線 f(x,y)=0 上の点が特異点でなければ、その点のまわりで曲線は $y=\phi(x)$ or $x=\psi(y)$ の形で表され、接線が 1 本だけ引ける.
- 実際, f(a,b) = 0, $f_y(a,b) \neq 0$ であれば陰関数定理より、曲線 f(x,y) = 0 は点 (a,b) のまわりで (1), (2), (3) を満たす関数 $y = \phi(x)$ のグラフとして表される。この曲線の点 (a,b) における接線の傾きは

$$\phi'(a) = -\frac{f_x(a,b)}{f_y(a,b)}$$

だから、この曲線の点(a,b)における接線の方程式は

$$y-b=-rac{f_x(a,b)}{f_y(a,b)}(x-a)$$
 $f_x(a,b)(x-a)+f_y(a,b)(y-b)=0$ $\uparrow f_y(a,b)=0$ でも $f_x(a,b)\neq 0$ であれば同じ式が得られる



• f(x,y,z)=0 は一般に空間内の曲面を表す.

例

$$x^2 + y^2 + z^2 - 1 = 0$$
 (原点中心, 半径1の球(面))

o
$$ax + by + cz + d = 0$$
 $((a, b, c) \neq (0, 0, 0))$ $(\vec{n} = (a, b, c)$ を法線ベクトルとする平面)

• 曲面 f(x,y,z)=0 上の点 (a,b,c) の「まわり」で曲面が 2 変数関数 $z=\phi(x,y)$ のグラフとして表されるための十分条件が次の version の陰関数定理である.

まとめ4 (陰関数定理2)

- f(x,y,z) は点 $(a,b,c) \in \mathbb{R}^3$ を含む \mathbb{R}^3 の開集合で定義された C^1 級の関数とする.
- $f(a,b,c)=0,\,f_z(a,b,c)\neq 0$ ならば $(a,b)\in\mathbb{R}^2$ を含む \mathbb{R}^2 のある開集合 U で定義された次の性質をもつ関数 $z=\phi(x,y)$ がただ 1 つ定まる:
 - (1) $c = \phi(a, b)$
 - (2) $f(x, y, \phi(x, y)) = 0 ((x, y) \in U)$
 - (3) $z = \phi(x, y)$ は C^1 級で

$$\frac{\partial z}{\partial x} = \phi_x(x, y) = -\frac{f_x(x, y, z)}{f_z(x, y, z)} \left(= -\frac{f_x(x, y, \phi(x, y))}{f_z(x, y, \phi(x, y))} \right)$$
$$\frac{\partial z}{\partial y} = \phi_y(x, y) = -\frac{f_y(x, y, z)}{f_z(x, y, z)} \left(= -\frac{f_y(x, y, \phi(x, y))}{f_z(x, y, \phi(x, y))} \right)$$

まとめ5 (接平面)

- f(x,y,z) は点 (a,b,c) を含む \mathbb{R}^3 の開集合で C^1 級とする.
- 曲面 f(x,y,z) = 0 上の点 (a,b,c) における接平面の方程式は $f_x(a,b,c)$, $f_y(a,b,c)$, $f_z(a,b,c)$ の いずれかが 0 でなければ、次で与えられる:

$$f_x(a,b,c)(x-a) + f_y(a,b,c)(y-b) + f_z(a,b,c)(z-c) = 0$$

瀋習 1

平面上の曲線 $y^2=x^3-x$ の点 $(2,\sqrt{6})$ における接線の方程式を求めよ.

解

$$\overrightarrow{f}(x,y) = y^2 - x^3 + x$$
 とおく.

$$f_x(x,y) = -3x^2 + 1$$
, $f_y(x,y) = 2y$

より

$$f_x(2,\sqrt{6}) = -11, \ f_y(2,\sqrt{6}) = 2\sqrt{6}$$

よって求める接線の方程式は

$$(f_x(a,b)(x-a) + f_y(a,b)(y-b) = 0)$$
$$-11(x-2) + 2\sqrt{6}(y-\sqrt{6}) = 0$$
$$11x - 2\sqrt{6}y - 10 = 0$$

演習 2

f(x,y) を (a,b) の近傍で定義された C^2 級関数で,f(a,b)=0 , $f_y(a,b)\neq 0$ とする.このとき (a,b) の近傍で f(x,y)=0 から定まる陰関数 $y=\phi(x)$ は 2 階微分可能であり $\phi''(x)$ は

$$\phi''(x) = -\frac{f_{xx}f_y^2 - 2f_{xy}f_xf_y + f_{yy}f_x^2}{f_y^3}$$

で与えられることを示せ、ただし、右辺について (x,y) に $(x,\phi(x))$ が代入されているとする.

解 陰関数定理より x=a を含む開集合 I で定義された関数 $y=\phi(x)$ で

- $b = \phi(a)$
- $f(x, \phi(x)) = 0 \ (x \in I)$
- $\phi \in C^1(I)$ \mathcal{T}

$$\frac{dy}{dx} = \phi'(x) = -\frac{f_x(x,y)}{f_y(x,y)} = -\frac{f_x(x,\phi(x))}{f_y(x,\phi(x))} \cdots \bigcirc$$

①の両辺を x で微分すると

$$\phi''(x) = -\frac{\left[\frac{d}{dx}f_x\right]f_y - f_x\left[\frac{d}{dx}f_y\right]}{f_y^2} \leftarrow \frac{d}{dx}f_x(x,\phi(x)) = f_{xx}(x,\phi(x)) + f_{xy}(x,\phi(x))\phi'(x) \text{ (合成関数の微分)}$$

$$= -\frac{\left[f_{xx} + f_{xy}\phi'\right]f_y - f_x\left[f_{yx} + f_{yy}\phi'\right]}{f_y^2} \leftarrow \phi' = -\frac{f_x}{f_y}$$

$$= -\frac{\left[f_{xx} + f_{xy}\left(-\frac{f_x}{f_y}\right)\right]f_y - f_x\left[f_{yx} + f_{yy}\left(-\frac{f_x}{f_y}\right)\right]}{f_y^2} \leftarrow \beta$$

$$= -\frac{f_{xx}f_y^2 - f_{xy}f_xf_y - f_{yx}f_xf_y + f_{yy}f_x^2}{f_y^3} \leftarrow f_{xy} = f_{yx}$$

$$= -\frac{f_{xx}f_y^2 - 2f_{xy}f_xf_y + f_{yy}f_x^2}{f_y^3}$$

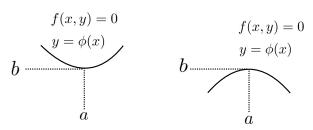
| 注 $f_y(a,b) \neq 0$ のとき $\phi'(a) = 0 \Leftrightarrow f_x(a,b) = 0$ だから、このとき

$$\phi''(a) = -\frac{f_{xx}(a,b)}{f_y(a,b)}$$

よって

•
$$\phi''(a) = -\frac{f_{xx}(a,b)}{f_y(a,b)} > 0 \Rightarrow$$
 極小

•
$$\phi''(a) = -\frac{f_{xx}(a,b)}{f_y(a,b)} < 0 \Rightarrow$$
 極大



演習3

$$\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} + \frac{z^2}{c^2} = 3 \ (a, b, c > 0)$$

で表される曲面の点 (a,b,c) における接平面の方程式を求めよ.

解

$$f(x,y,z) = \frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} + \frac{z^2}{c^2} - 3 \ \text{Z} \ \text{3} \ \zeta.$$

$$f_x(x,y,z) = 2\frac{x}{a^2}$$
, $f_y(x,y,z) = 2\frac{y}{b^2}$, $f_z(x,y,z) = 2\frac{z}{c^2}$

より

$$f_x(a,b,c) = \frac{2}{a}, \ f_y(a,b,c) = \frac{2}{b}, \ f_z(a,b,c) = \frac{2}{c}$$

よって求める接平面の方程式は

$$(f_x(a, b, c)(x - a) + f_y(a, b, c)(y - b) + f_z(a, b, c)(z - c) = 0)$$

$$\frac{2}{a}(x - a) + \frac{2}{b}(y - c) + \frac{2}{c}(z - c) = 0$$

$$\frac{2}{a}x + \frac{2}{b}y + \frac{2}{c}z = 6$$

$$\frac{1}{a}x + \frac{1}{b}z + \frac{1}{c}z = 3$$

$$bcx + cay + abz = 3abc$$